

全道シニアダンス競技会 9/20 開催時の感染防止策チェックリスト（出場選手用）

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（競技会当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスク・マウスシールド・フェイスシールド等飛沫防止グッズを持参すること
（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際には飛沫防止グッズを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 競技会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 競技会前後のミーティングや懇親会等においても三つの密を避けること
- タオルの共用はしないこと
- 会場内での食事は一切禁止、持ち込まないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク、栄養ドリンク等は持ち帰ること

競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 競技を行っていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
特に控え室での着替え時など（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - 動きの激しい種目の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - マウスシールド・マスク等を着用していない場合には十分な距離を空けるよう特に留意する必要がある
（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
 - 競技中の接触を避けるような位置取りに注意すること
 - 競技中はマスク、マウスシールド、フェイスシールドのいずれかを選択し着用すること
（※）マスクの着用は可であるが熱中症対策の観点から十分に注意が必要、フェイスシールドは視界や動きに支障をきたすことが考えられることより北海道ボールルームダンス連盟ではマウスシールド着用を推薦
（※）マウスシールドは当日受付にて2個セット100円にて販売（出場選手分の用意有）
 - 出場セクション以外の競技会場への入場は禁止、従って他の出場選手の見学及び応援は不可
（※）出場以外のセクションが行われている時は、ソーシャルディスタンスを保ち控え室にて待機
 - 前半の競技に出場されたカップル（SL・SCS）は競技終了後、速やかに退館。決勝に進出された場合は前半表彰式に参加したのち、速やかに退館（後半の競技の見学及び応援は不可）
前半及び後半の競技に重複出場されるカップルは後半競技終了後、速やかに退館。
後半競技において決勝に進出された場合は後半表彰式に参加したのち、速やかに退館。
後半の競技に出場されたカップル（SAS・SBS・GS）は競技終了後、速やかに退館。
決勝に進出された場合は後半表彰式に参加したのち、速やかに退館（前半競技の見学及び応援は不可）